

No.	キャッチフレーズ	作品の説明
1	安全安心な暮らしを継ぐ未来へと	安全で安心な暮らしを次世代まで継ぎ未来を明るくしようという前向きな意味です。
2	今と未来、二つの川をつなぐ橋	今と、その先にある未来への掛橋となってしっかり繋いでいこうと言う思いを表現しました。また、「川」越・「川」島の二つの川も繋いでいるという部分を改めて認識できるような表現としています。
3	日本一安全・安心なまちをめざして	日本一安全・安心なまちづくりをめざして川越地区の安心・安全を50年も守り抜いてきた川越地区消防組合50周年おめでとうございます。50周年を祈念して「日本一安全・安心なまちをめざす消防組合」というキャッチフレーズを考えました。これからも、日本一安全・安心なまちをめざして、みんなから頼りにされる川越地区消防組合として未来に向かって発展されることを願っています。
4	地域を守り、未来へつなぐ五十年	消防組合が地域で五十年の長きにわたり果たしてきた役割、さらには次世代へとつなぐ決意を表現しました！
5	“地域を守る” 纏受け継ぎ 次世代へ	纏(まとい)を通じ、地域の安全安心を願う心を、世代を越え通わせ合おうという意味。
6	守り抜く 安全・安心 その笑顔	50年を過ぎるこの先も市民及び町民の安全・安心を守り抜く組合の伝統と使命感を表現しました。

No.	キャッチフレーズ	説明文
7	築く伝承50年 更なる安全安心へ	組合設立から50周年を機に、先人たちが築き伝承されてきた歴史をもとに、今後、一層安全安心の地域づくりの実現に努めようとする熱意を表現したものです。
8	羽ばたこう 安全・安心な未来へ	設立50周年を契機に、更なる安全・安心な地域をめざし、未来へと羽ばたいていこう。
9	時代を繋ぐ 絆と信頼	これまでの歴史の中で培ってきた、住人や退職された消防職員など多くの人々との絆や信頼・功績を、この先の未来へと繋げて行って欲しいという願いを込めました。また、子供たちの憧れの存在であり続けて欲しいという思いも作品に込めました。
10	絶ゆ間なく担い続ける地域の安全	火事、救急では真っ先にかかけつけ、コロナ禍でも、病院が受け入れてくれなくても、何時間も受け入れ先を探したり、寄り添う姿をテレビ等で見ているため。
11	50年の想いを弾みに走り出せ！	設立から50年という節目の年を迎え、消防職員のみならず、また地域の方々一人ひとりがそれぞれの“想い”をお持ちなのではないでしょうか。そして、その“想い”こそが、未来へ走り出す原動力であり、これからは川越市・川島町みんなで手を取り合い、前向きに走っていくことで、より安全・安心を実感できる暮らしをつくっていけるのではないかと考え、このキャッチフレーズとしました。